

とうじしゃぶかい からふる かつどう 当事者部会（カラフル）の活動

みせへん お店編

レジ なら せん

○レジで並ぶ線がわからない

しかくしょう かた

【視覚障がいのある方】

せん かくにん ばあい つ そ あんない
線を確認することができない。場合により、付き添いや案内をしてほしい。



ちょうかくしょう かた

【聴覚障がいのある方】

しゅわ で き ひと せんふきん あんない なら ばしょ はあく りょうしゃ
手話が出来る人や線付近に案内があれば、並ぶ場所と把握できるが、その両者がない

ばあい なら ばしょ わ
場合、並ぶ場所が分からない。

ちてきしょう かた

【知的障がいのある方】

なら せん ふくざつ とき あたま なか ぱ に っ く
並ぶ線が複雑である時、頭の中でパニックになることがある。

しなもの おお

○品物が多すぎてわからない

しんたいしょう したいふじゆう かた

【身体障がい（肢体不自由）のある方】

くるま つえ しょう ひと つうろじょう しょうひん だ つうこう
車いすや杖を使用している人は、通路上に商品がはみ出していると通行が

むづか とき
難しい時がある。

しかくしょう かた

【視覚障がいのある方】

おな しょうひん ばあい みくら むづか
同じ商品があった場合見比べることが難しい。



くふう

○工夫していること

ちょうかくしょう かた

【聴覚障がいのある方】

しゅわ たいおう そうてい たぶれっと も
手話で対応できないことを想定し、タブレットを持っていく。

しかくしょう かた

【視覚障がいのある方】

い みせ じぜん したみ なに ていどはあく
行くお店を事前に下見をして、どこに何かあるかある程度把握する。

ちてきしょう かた

【知的障がいのある方】

こうにゆう あと しょうひん こうにゆう れしーと かくにん
購入した後に、どの商品を購入したかレシートで確認をしている。



ちがさきしじりつしえんきょうぎかい

茅ヶ崎市自立支援協議会とは



しょうがいしゃ にちじょうせいかつおよ しゃかいせいかつ そうごうてき しえん ほうりつ しょうがいしゃそうごう
「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」(障害者総合
しえんほう だい じょう だい こう しょう かた しえんたいせい せいび はか
支援法)第89条の3第1項により、障がいのある方への支援体制の整備を図るため、
かんけいきかんとう ちいきじりつしえんきょうぎかい しちょうそん せっち
関係機関等による「地域自立支援協議会」を市町村が設置することになっております。



ちがさきし しょう じ しゃ せいかつ しえん し およ かんけいきかんとう そうご れんらく
茅ヶ崎市では、障がい児・者の生活を支援するため、市及び関係機関等が、相互に連絡を
はか ちいき しょう しゃとう てきせつ しえん かん じょうほうおよ しえんたいせい かん
図ることにより、地域における障がい者等への適切な支援に関する情報及び支援体制に関
か だい きょうゆう かんけいきかんとう れんけい きんみつ か はか もくてき
する課題について共有し、関係機関等の連携の緊密化を図ることを目的として、
ちがさきしじりつしえんきょうぎかい せっち
「茅ヶ崎市自立支援協議会」を設置しています。



とうじしゃぶかい からふる 当事者部会(カラフル)とは

しょう かた あつ とうじしゃ めせん かん ちがさきし ふくしかだい
障がいのある方が集まって、当事者の目線で感じる茅ヶ崎市の福祉課題について
はな あ とうじしゃじしん ちがさきし ふくし たい はっしん とうじしゃ しせい
話し合い、当事者自身が茅ヶ崎市の福祉に対して発信をしていくことと、当事者が「市政に
とうじしゃ さんか じっかん も かくぶかい かだい とうじしゃぶかい はな あ かくぶかい
当事者が参加している」という実感を持ち、各部会の課題も当事者部会で話し合い各部会と
れんけい はか もくてき かつどう
の連携を図っていくことを目的に活動をしています。
れいわ ねんど ねんかん りかいそくしん てーま しょう かた にちじょうせいかつ
令和4、5年度の2年間では、「理解促進」をテーマとして、障がいのある方が日常生活
まわ き こま とうじしゃぶかい からふる なか きょうぎ
で周りに気づかれていない「困ったこと」を当事者部会(カラフル)の中で協議してきました。

ちらし ないよう かん と あ
このチラシの内容に関するお問い合わせは、

ちがさきししょう ふくしか ねが
茅ヶ崎市 障がい福祉課(0467-81-7160)までお願いいたします。